

### 法人単位事業活動計算書

(自) 平成29年 4月 1日 (至) 平成30年 3月31日

第二号第一様式 (第二十三条第四項関係)

(単位: 円)

勘定科目		当年度決算	前年度決算	増減	
サービス活動増減の部	収益	介護保険事業収益		518,592	△518,592
		障害福祉サービス等事業収益	97,320,386	99,654,778	△2,334,392
		授産事業収益	77,855	87,800	△9,945
		福祉有償運送事業収益	242,950	401,700	△158,750
		経常経費寄附金収益		5,000	△5,000
	サービス活動収益計(1)		97,641,191	100,667,870	△3,026,679
	費用	人件費	79,309,643	80,588,751	△1,279,108
		事業費	2,783,904	2,858,238	△74,334
		事務費	6,731,661	7,032,532	△300,871
		授産事業費用	29,500	27,000	2,500
減価償却費		2,191,430	2,793,808	△602,378	
国庫補助金等特別積立金取崩額	△536,826	△570,552	33,726		
サービス活動費用計(2)		90,509,312	92,729,777	△2,220,465	
サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)		7,131,879	7,938,093	△806,214	
サービス活動外増減の部	収益	受取利息配当金収益	2,341	3,056	△715
		その他のサービス活動外収益		104,500	△104,500
	サービス活動外収益計(4)		2,341	107,556	△105,215
	費用				
サービス活動外費用計(5)					
サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)		2,341	107,556	△105,215	
経常増減差額(7)=(3)+(6)		7,134,220	8,045,649	△911,429	
特別増減の部	収益	サービス区分間繰入金収益	10,140,000	589,825	9,550,175
		特別収益計(8)		10,140,000	589,825
	費用	固定資産売却損・処分損	1	1	
		サービス区分間繰入金費用	10,140,000	589,825	9,550,175
特別費用計(9)		10,140,001	589,826	9,550,175	
特別増減差額(10)=(8)-(9)		△1	△1		
当期活動増減差額(11)=(7)+(10)		7,134,219	8,045,648	△911,429	
繰越活動増減差額の部	前期繰越活動増減差額(12)		86,451,062	78,405,414	8,045,648
	当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)		93,585,281	86,451,062	7,134,219
	基本金取崩額(14)				
	その他の積立金取崩額(15)				
	その他の積立金積立額(16)				
	次期繰越活動増減差額(17)=(13)+(14)+(15)-(16)		93,585,281	86,451,062	7,134,219